

原爆症認定申請に係る処分状況について  
(平成22年4月～23年3月審査分)

1 審査月別処分状況

<審査月別認定・却下件数(単位:件)>

審査月	認定	却下	合計
平成22年4月	95	358	453
平成22年5月	119	386	505
平成22年6月	34	619	653
平成22年7月	145	554	699
平成22年8月	19	435	454
平成22年9月	190	541	731
平成22年10月	272	702	974
平成22年11月	111	358	469
平成22年12月	148	437	585
平成23年1月	162	238	400
平成23年2月	29	170	199
平成23年3月	111	202	313
平成22年度合計	1,435	5,000	6,435

※平成20年度 認定2,919件 却下62件  
平成21年度 認定2,807件 却下2,134件  
平成23年度(4月～9月) 認定1,178件 却下1,262件

2 疾病別処分状況

<認定疾病別認定状況(単位:件)>

認定疾病	認定件数
悪性腫瘍	1,170
白血病	91
副甲状腺機能亢進症	4
放射線白内障	25
放射線起因性が認められる心筋梗塞(急性冠症候群を含む)	43
放射線起因性が認められる甲状腺機能低下症	84
放射線起因性が認められる慢性肝炎・肝硬変	13
上記以外の疾病	10

※複数の疾病で認定されている場合は重複して計上している。

<申請疾病別却下理由（単位：件）>

申請疾病名	放射線起因性が認められないため	要医療性が認められないため	放射線起因性及び要医療性が認められないため	合計却下件数
悪性・良性腫瘍	1,002	278	157	1,437
造血系疾患	110	28	9	147
副甲状腺機能亢進症	18	10	3	31
白内障	1,311	33	47	1,391
心筋梗塞（急性冠症候群を含む）	693	0	37	730
甲状腺機能低下症	386	0	22	408
肝障害	288	2	17	307
上記以外の疾病	870	3	0	873

※1 区分をまたがる複数の申請疾病がある場合は重複して計上している。

※2 「上記以外の疾病」の欄には、上記のいずれの区分にも該当しない申請疾病のみの申請件数を計上。

※3 放射線起因性が認められないと判断された場合の例

- ①原子爆弾の放射線に起因する疾患を発症するほどの放射線被曝がなかったと判断された。
- ②申請された疾患と放射線との因果関係が証明されていないと判断された。
- ③放射線起因性が指摘されている疾患に罹患しているが、申請者の年齢（加齢とともに白内障、心筋梗塞は増加する）、生活習慣（喫煙、肥満によって心筋梗塞は増加する）、持病（高血圧、高脂血症、糖尿病によって心筋梗塞は増加する）、特徴的な所見（放射線白内障には特徴的な所見がある）等を分科会において考慮し、放射線起因性がないと判断された。
- ④提出された資料からは疾患が存在するかどうか判断できないと判断された。

※4 要医療性が認められないと判断された場合の例

- ①放射線起因性のある疾患に罹患しているものの、治療が必要な段階ではない（検査値にやや異常があるが、症状がなく治療を必要としないなど）と判断された。
- ②放射線起因性のある疾患に罹患していたが、手術等の治療の結果、該当疾患に対する積極的な医療が必要ではなくなったと判断された。

※5 被爆者健康手帳に記載された被爆状況が積極的に認定することとしている目安（3.5km以内での直接被爆等）に該当しない場合であっても、審査において、客観的資料の確認等により、相当程度の被曝を受ける状況にあったと認められた場合には、認定されている場合がある。